

米兵による少女連れ去り及び性的暴行事件に対する抗議決議

昨年12月24日、嘉手納基地所属の米空軍兵長が沖縄本島中部の公園で16歳未満の少女を連れ去り、同意なく性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐と不同意性交の罪で、3月27日付で起訴されていたことが報道によりわかった。

この米兵による蛮行に激しい怒りと憤りを覚えるとともに改めて県民に強い衝撃と不安を与えている。

又も発生してしまった凶悪な事件に、米軍の再発防止策の弱さを指摘し、抜本的な改善策を求めるものである。

よって本市議会は、今回の事件に対し満身の怒りを込めて抗議するとともに、事件・事故の実効性ある再発防止に向けて下記のとおり強く要求する。

記

1. 事件の全容を解明するとともに速やかに公表し、誠意ある対応を行うこと。
2. 市民・県民が安心して生活することができるよう、実効性ある再発防止策を講じること。
3. 日米地位協定の抜本的な見直しを図ること。

以上、決議する。

令和6年（2024年）6月26日

沖縄県浦添市議会

宛先

米国大統領、米国国防長官、米国国務長官、駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米海兵隊太平洋基地司令官、在沖米国総領事、外務大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）、沖縄県警察本部長